

一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社
定時社員総会及び理事会

(第13期)

一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社議案書

自令和7年 4月 1日
至令和8年 3月31日

(第14期)

一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社議案書

自令和8年 4月 1日

日時：令和8年 7月 1日

場所：歴史文化伝承館5階第1会議室



一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社定時総会次第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

第1号議案 第13期 事業報告及び決算について
＜監査報告＞

第2号議案 役員（理事）改選について

第3号議案 第14期 事業計画（案）、予算（案）について

第4号議案 秩父地域観光基本計画について

4 その他

5 閉 会

一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社

第13期（令和7年度）事業報告書

滞在型観光の推進

1 広報宣伝活用事業

(1) HP、SNSの活用 (<https://www.chichibu-omotenashi.com/>)

現在、プロモーション活動の主力であるSNSを積極的に活用した。

Facebookは毎日更新。また、InstagramやXも効果的に投稿した。

フォロワー数：Facebook 14,641人、Instagram 5,109人、X 6,355人(6/8現在)

また、HPでは公式OTA（オンライン旅行代理店）サイトを構築した。

(2) デジタルサイネージ

西武鉄道㈱と連携し、西武池袋駅、西武秩父駅や各観光案内所でのデジタルサイネージで観光PR用動画コンテンツを放映し、イメージアップと誘客を図った。

(3) ロケーションの誘致（誘致数：19）

東京から近く撮影の種類も豊富に対応できるためロケーション需要が多く、積極的に対応し、秩父地域の露出に努めた。

(4) 秩父おもてなしTV（チャンネル登録数：10,500人 6/8現在）

秩父市から業務委託を受け、YouTubeチャンネル『秩父おもてなしTV』の定期更新（毎週水曜日年間51本）や全国植樹祭の開催に伴う屋台笠鉾の特別展示の撮影。動画制作をはじめ、秩父の魅力をリアルに伝えるライブ配信や注目の高い祭のライブなどを実施。

2 農泊を活用した教育旅行誘致事業

(1) 受入校、体験プログラム 別添1参照

(2) 受入家庭の確保

既存受入家庭も環境が変わっていることから、家庭数がかかり減少している。しかし、申し込み数は徐々に増えており、今までには交渉していない団体や個別にも積極的に声掛けして、安定して受入可能な件数、130軒以上を目標にして開拓した。※今年度実績：秩父4軒、横瀬2軒

(3) 農泊誘致営業埼玉県のエデュケーション旅行補助金を活用し、秩父地域の民泊を扱ってくれた実績のある地域（都内、神奈川、関西）の旅行会社を中心に民泊誘致の営業を実施した。

また、農泊の全国組織である「全国ほんもの体験ネットワーク」の全国教育民泊協会総会を秩父で開催した。（3/22～3/24）

3 地域旅構築事業

(1) サザエさん森へ行く 植樹ツアー in 秩父 2025

昨年に引き続き、一般社団法人日本ウッドデザイン協会および伊佐ホームズ株式会社が、共同で企画（11/6 予定）していたが、熊報道の影響により中止となった。

(2) 満月の夜間巡礼

人気 YouTube 番組「ReHacQーリハッカー」で放映された夜間巡礼を札所連合会の協力で実際のツアーとして販売した。

4 西武鉄道 CSR

毎年、西武鉄道が実施している秩父地域 1 市 4 町を対象とした環境活動・地域貢献プロジェクトに協力した。（年 6 回 第 55 回～60 回）

6/22 花咲山整備活動・お茶摘み体験など：横瀬町

7/30 親鼻河原除草活動：皆野町

9/23 芝桜の苗植え、10 番札所整備活動：ジオ、札所

10/13 奈倉、あじさい公園整備活動：小鹿野町

12/4 夜祭後の花火のごみ拾い、夜景観賞：秩父市

1/7 竹林整備・竹あかり体験：長瀬町

5 観光案内人育成事業

地域内にある 10 のガイド団体が参加している「ちちぶ案内人倶楽部：公社事務局」として、「じゃらん Net.」で販売を強化したほか、NIPPONIA 秩父門前町の宿泊ツアーにも協力した。催行：33 件

6 広域レンタサイクル

「広域レンタサイクル」を観光客の二次交通手段として確立していくよう、利用方法、PR について運営を委託している観光協会等と検討をした。（R7 度 実績 7,404 台）

※株式会社ゼンリンから依頼があり、秩父観光協会の協力を得て、31台の自転車にGPSを設置して行動データを取得した。（9/1～11/30）

※秩父観光情報館でレンタサイクル予約システムを電動付自転車2台で3月より試験的に運用を開始した。

7 サイクル巡礼運営事業（サイクル先達）

令和5年度構築した「サイクル先達」のシステムを秩父札所巡りのツールとして確立しており、レンタサイクル事業とともにPRした。令和8年の札所総開帳に向け、老朽化しているサイクル巡礼の立て看板18か所の土台修理を実施した。

8 事務局運営

（1）彩の国秩父地域観光協議会

観光客誘客を目的としたポスター200部の制作、【ちちぶ路】パンフレット50,000部の作成や公社事業と連動したキャンペーン事業を実施した。（3回）

（2）秩父まるごとジオパーク

令和7年度は4年に一度のJGN（日本ジオパークネットワーク）による再認定審査（11/6～8）が実施され、無事再認定が承認された。その時の審査員からの指摘事項を反映したアクションプランを作成して4年間のタームを区切り、取組を推進し、ジオパークの強化を図る。

（3）産学官連携コーディネート事業・中小企業応援プロジェクト事業

1市4町、商工会議所、各商工会と連携し、中小企業診断士などの有資格者で企業支援に精通した3名のコーディネーターによる訪問型の企業支援や経営改善など、具体的な課題克服に関する支援を行った。

（4）ちちぶ空き家バンク事業（定住）

1市4町、埼玉県宅建協会秩父支部と連携して、秩父地域で土地・建物を所有している方と移住・定住を検討している方の橋渡しを行った。

（5）森林環境譲与税窓口一元化事業

秩父森林活性化協議会から委託を受け、秩父地域1市4町共同で秩父産木工製品等の販売窓口を一元化し下流域自治体からの注文・問合せ等に対応した。

（6）広域秩父産業連携フォーラム（FIND Chichibu）

秩父地域の企業約150社が参加するFIND Chichibuの事務局を受託し、1つの部会と9の分科会による地元企業の活性化を通して地域全体の振興に協力した。

外国人観光客の増加

定住自立圏の協定のひとつである「外国人観光客の増加」を推進するため関係団体と協力し、インバウンド事業の再始動に向けて取り組んだ。

- 各種インバウンドセミナーへの参加 日本政府観光局（JNTO）や行政、旅行会社等が開催する「インバウンドセミナー」に積極的に参加。

埼玉県、物産観光協会、西武鉄道が進めるインバウンド事業に協力し、FAM ツアー、インフルエンサー、メディア受入れを実施して秩父のPRを行った。

- ・台湾旅行会社5社 FAM ツアー （秩父市街地、神社、グルメ）
 - ・秩父札所体験ツアー （札所体験）
 - ・米国プロモーション事業 （長瀬・小鹿野）
 - ・フランス FAM ツアー （札所体験）
 - ・シンガポール FAM ツアー （秩父市街地、神社、施設見学）
 - ・欧州 FAM 歴史トレイルウォーキング （札所、神社、グルメ）
 - ・タイ FAM ツアー （秩父地域の紅葉）
 - ・米国トラベルアドバイザー FAM ツアー （アウトドア体験）
 - ・台湾 FAM ツアー （長瀬、横瀬氷柱）
- 観光庁の「地域の魅力向上事業」補助金等を活用し、「12年に1度 秩父地域全体がパワースポットに！ 秩父札所 午歳総開帳 2026 連携プロジェクト」を実施。インバウンド需要を喚起する札所体験ツアー、巡礼ガイド育成、夜巡礼、1市4町の事業者と連携したデジタルスタンプラリーを実施した。
 - ・外国人向けツアー実施件数：10本 スタンプラリー参加者：545名
 - 西武鉄道㈱のインバウンドチームと連携して、川越市、所沢市、秩父市、公社等とインバウンド事業について定期的に情報交換をした。
 - ウイスキー祭外国人向けチケット販売協力 300人
 - 埼玉県物産観光協会事業に協力した。
 - 有力コンテンツ事業応募（秩父銘仙を着てレトロな街歩きツアー採択）
 - SAITAMA トラベルマート参加
 - アメリカ・台湾・タイ商談会参加

地域ブランド確立事業

1 販売促進

秩父夜祭同時開催の「絹市」や第13回ウイスキー祭に出店してPRに努めた。

2 地域商社機能の確立

(一財)秩父地場産業振興センターを公社と統合して4年目を迎え、地域商社機能の充実を図った。

じばさん商店

- 公社の直営店舗として、地域商社部門を担い、新商品、PB商品の開発に努めた。

また、店舗イベントや出張販売での販路拡大に向けた販売プロモーション、テストマーケティングを積極的に行った。

西武秩父駅「祭の湯」

- 店舗運営「LOVE CHICHIBU ショップ」
- 「みやげ市」の一角に出店したブースに、新たな特産品の発掘やオリジナル商品の構築及びMDを行い、地域ブランドの確立に向けた取組を実施した。

レストラン列車「52席の至福」

- ディナーコースのお土産4月～6月 秩父きゅうりのおつけものセット（丸山農園）

7月～9月	秩父銘仙車厘3種セット（亀沢屋）
10月～12月	うどんとかぼす七味のセット（武蔵屋） ちちぶ飴 フルーツと横瀬の紅茶セット（ENGAWA）
1月～3月	ちちぶ燻製 桜井 特製おやつセット

日本版 DMO の推進・確立

観光庁は世界標準 DMO を目指すよう先駆的 DMO に向けた取組を推奨しているため、継続してマーケティング事業を確立していく。また、研修視察等にも対応する。

1 先駆的 DMO

観光庁が選定する「先駆的 DMO」（全国 360 ある DMO のうち 11 団体）に令和 7 年度選定された。今後の 3 年間世界標準 DMO に向けた取組を進める。

令和 7 年度実施事業① DMO の具体的な役割の明確化と地域関係者との合意形成
②インバウンドマーケティング戦略の検討、策定③住民満足度の向上に向けたデータ収集・分析の仕組み、体制構築とデータに基づく地域住民とのコミュニケーション戦略の策定・運用④地域人材を活用した DMO の取組強化⑤職員の満足度、モチベーションを向上、維持する DMO 組織の制度、体制の構築を実施。

※以上の取組を専門家丸山芳子氏、今山実穂氏、浅見裕氏、吉田武志氏、仲村篤史氏に委託して推進した。

2 秩父地域観光基本計画の策定

DMO の登録要件が変更され、策定が必須となった秩父地域の観光基本計画を㈱ワールドビジネスアソシエイツに委託して策定した。

ステークホルダーからの意見を聴取するため、3 度のワークショップを開催し、基本計画に反映したものとした。

3 観光 DX 推進による地域活性化モデル実証事業（観光庁補助金 10/10）

公社と秩父市と㈱ワールドビジネスアソシエイツでコンソーシアムを形成し、公社の満足度調査、秩父市の入込観光客、AI カメラをオープンデータ化するモデル事業を展開した。オープンデータは新たな DMP である「CIRCUIT」を構築し、公社 HP で閲覧できるようにした。

4 観光地域づくり法人の体制強化事業（観光庁補助金 10/10）

㈱ワールドビジネスアソシエイツに委託し、宿泊税のシミュレーションなど安定財源計画書に向けた計画書を作成した。

5 観光マーケティング

- ・日本版 DMO として、必須 KPI である「旅行消費額、観光客満足度、リピーター率、総宿泊者数」を 1 市 4 町観光協会、秩父旅館業協同組合に委託し継続した調査実施。
- ・（一社）埼玉県物産観光協会（彩の国 DMO）が構築した DMP（デジタル・マーケティング・プラットフォーム）の活用に関内 4DMO・4 自治体とともに協力した。

6 視察・講演対応

視察：（・4/15 熱海市、7/23 北栄町、8/22 東洋大学、8/26 静岡大学、9/11 北秋田市、9/20 群馬大学 12/6 立教大学・1/29 跡見女子大学、2/7 福島県、3/14 東松山振興センター）

講演：（5/31 埼玉女子短期大学 9/26 0/26,11/7 JR 東日本企画、9/9 千葉県、12/10 帝京平成大学、12/20 國學院大學 2/14,東北4DMO、3/18 千葉県成田地区）

アドバイザー依頼：（・東京都清瀬市【観光協会運営】、・広島県廿日市市【DMO 設立】・㈱JR 企画【社内研修講師】、・福井県勝山市【DMO 運営】）

その他

1 「秩父夜街 彩さんぽ」（1/30～3/15）

冬の閑散期の賑わい創出及び札所総開帳に繋げるイベントとして、秩父神社、番場通り、札所13番、15番、御花畑駅等のライトアップを秩父市の負担金により実施した。また、同時に期間中33店舗の協力を得て、「夜バル祭」も独自事業として実施した。

2 秩父市地場産業センター管理運営業務（秩父市からの指定管理）

秩父市が所有する「秩父市地場産業センター」の指定管理業務委託を受け、センターの施設運営及び貸館業務を行った。また、1階店舗や2階レストランと連動する形で拠点施設としての賑わい創出に努めた。

3 大学生のインターン受入れ

國學院観光まちづくり学部1名（8/9～8/21）、シンガポールの学生1名（7月末から4か月）受け入れ。公社の取組を学ぶほか、じばさん商店でのイベント運営、祭、札所の視察等実施した。

4 KNT-CTホールディングス(株)、西武鉄道(株)の2026年度採用活動 インターンシップツアーの受入れを実施した。

5 持続可能な観光推進事業

昨年のモデル事業の取組を継承する形で、観光庁「持続可能観光ガイドライン（JSTS-D）」を進め、将来的に国際認証「グリーンデスティネーション」を目指し

ていく取組を開始した。⇒観光庁よりJSTS-Dロゴ活用承認（4/16）⇒7年度以降も継続

6 第75回全国植樹祭秩父地域推進協議会への協力

令和7年5月25日に秩父ミューズパークで全国植樹祭が開催。推進協議会に参加し、積極的に協力した。全国植樹祭秩父市記念事業「秩父祭・川瀬祭 笠鉦・屋台特別公開」では曳子募集ツアーでは近畿日本ツーリストと共催。また、秩父おもてなしTVでの撮影協力、イチローズモルト植樹祭記念ボトルの制作、現地スタッフ弁当の協力やじばさん商店で会場にも出店した。

7 NIPPONIA 事業への協力

2022年8月にオープンした、NIPPONIA「秩父門前町」で、共同出資者である株式会社NOTE、㈱西武リアルティソリューションズとの出資会社株式会社秩父まちづくりの一員として経営に協力した。

8 秩父札所総開帳誘客促進協議会への協力

秩父札所総開帳誘客促進協議会に参画し、定期的に情報共有を行い、飲食店と連動したスタンプラリーの実施や3月1日に開催された「札所サミット」の運営などを協力体制の強化を図った。

9 秩父市ふるさと納税業務委託

5月より秩父市から業務委託を受け将来的には令和8年度より、地域商社事業の一環としてじばさん商店で中間事業者としての機能確立した。

令和7年度実績

別添1

日付		学校名	生徒数	家庭数	備考
4/12/2025	1泊	一橋大学	16	4	型染め体験
4/14/2025	1泊	台中市私立立人高級中學	36	10	
4/21/2025	1泊	国立苑裡高級中學	30	8	
5/20/2025	1泊	国立嘉科実験高級中學	7	2	
5/22/2025	1泊	新北市立北大高級中學	22	6	
5/31/2025	1泊	流山市立八木中学校	122	35	
6/18/2025	1泊	名古屋市立北山中学校	90	26	
6/26/2025	1泊	成都棠湖外国语学校	13	4	
7/15/2025	1泊	青島三十九中学	25	8	
7/21/2025	1泊	江戸川区立鹿骨中学校	123	34	ジオパーク秩父ガイド
7/26/2025	1泊	桜丘高等学校 インターアクト部	20	6	
8/13/2025	1泊	上海市位育実験学校	6	2	
8/20/2025	2泊	江戸川区立鹿本中学校	109	29	ジオパーク秩父ガイド
8/28/2025	1泊	SMK SEREMBAN 2校 & SMK NILAI IMPIAN 校（中高一貫校）	31	9	
10/15/2025	2泊	東大和市立第二中学校	77	25	
10/21/2025	0泊	台湾教育旅行関係者ファミツアー	5	2	
11/5/2025	1泊	国立政治大学附属高級中学	35	10	
11/20/2025	1泊	一橋大学	16	4	型染め体験
2/2/2026	1泊	淑徳高等学校	23	7	
3/4/2026	1泊	京都精華学園中学校	57	19	
3/10/2026	1泊	台北市立大同高級中学	26	7	
	合計	21 校	889人	257軒	